



2011年9月15日

季節性インフルエンザワクチン ASP7374 の 第 I/II 相臨床試験において被験者への治験薬接種が完了しました

アステラス製薬株式会社（本社：東京、社長：畑中 好彦、以下「アステラス製薬」）と株式会社 UMN ファーマ（本社：秋田市、社長：金指 秀一、以下「UMN ファーマ」）が共同で開発を進めている季節性インフルエンザ HA ワクチン ASP7374（旧開発コード：UMN-0502）の第 I/II 相臨床試験において、被験者全例への治験薬接種が完了しました。

この臨床試験では、健康成人被験者 165 名を対象に ASP7374 の皮下接種 2 用量及び筋肉内接種 1 用量での免疫原性及び安全性を比較検討し、ASP7374 の臨床推奨用量を検討することを主な目的としています。

ASP7374 は、3 種類の抗原からなる季節性組換えインフルエンザ HA ワクチンで、バイオ医薬品の次世代製造プラットフォームである BEVS (Baculovirus Expression Vector System) を用いた細胞培養法で製造されています。米国では、Protein Sciences Corporation が本ワクチンの臨床試験をすべて終了し、現在、FDA が承認審査を行っています。

お問い合わせ先
アステラス製薬株式会社 広報部 TEL:03-3244-3201 FAX:03-5201-7473
株式会社 UMN ファーマ 取締役経営企画部長 手嶋 剛 TEL:045-624-8341 E-mail: press@umnpharma.com